

2024年6月6日 全7頁

# 消費データブック（2024/6/6号）

個社データ・業界統計・JCB消費NOWから消費動向を先取り

経済調査部 エコノミスト 中村 華奈子

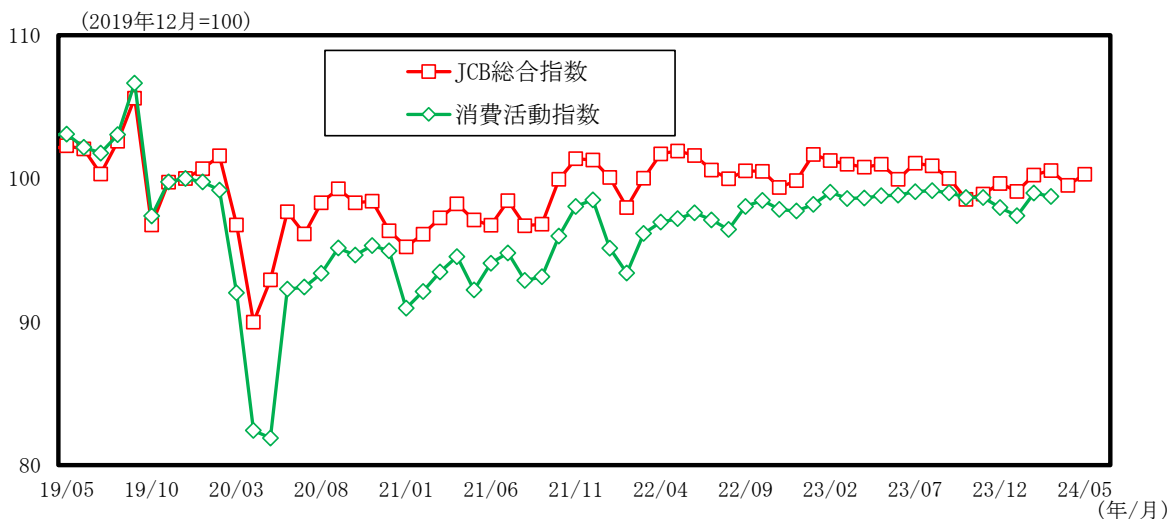
## 【要約】

- 2024年4月の消費は3月から小幅に減少した。財消費のうち、アパレル販売額はコロナ禍前の2019年同月比で3月からマイナス幅が縮小した一方、百貨店商品販売額はマイナス幅が小幅に拡大した。新車販売台数は増加に転じた（大和総研による季節調整値）。サービスのうち、宿泊者数の伸び率（2019年同月比）は3月から低下し、外食売上高の伸び率（同ベース）は上昇した。
- 5月の消費は4月から小幅に増加したとみている。財消費のうち、百貨店大手3社の既存店売上高は2019年同月比で4月からプラス幅が拡大した。他方、アパレル大手3社の既存店売上高は天候要因もありプラス幅が縮小した。新車販売台数は2カ月連続で増加した（大和総研による季節調整値）。サービス消費のうち、東海道、山陽、北陸新幹線の輸送量は2019年同月比で4月から伸び率が拡大した。JCBが集計した宿泊消費額は4月から伸び率が横ばい、外食消費額はプラス幅が拡大した。

## <消費全体の動き>

- ◆【JCB 総合指数】 24年5月のJCB 総合指数<sup>1</sup>（大和総研による季節調整値）によると、実質消費額の伸び率は前月比+0.8%。内訳を見ると、財、サービスともに前月から増加。

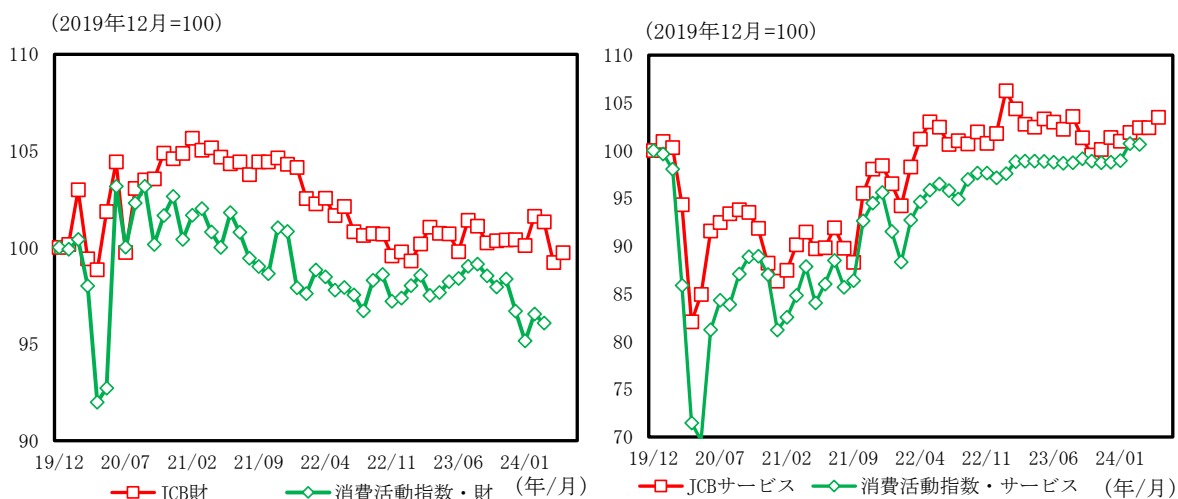
図表 1：消費活動指数・JCB 総合指数



(注) JCB 総合指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24年5月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

図表 2：財・サービス別に見た消費の動き



(注1) JCB 財指数・JCB サービス指数は大和総研による季節調整値。CPI で実質化。24年5月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(注2) 財の消費活動指数は、当該指数の耐久財・非耐久財を形態別ウエイトで加重平均したもの。

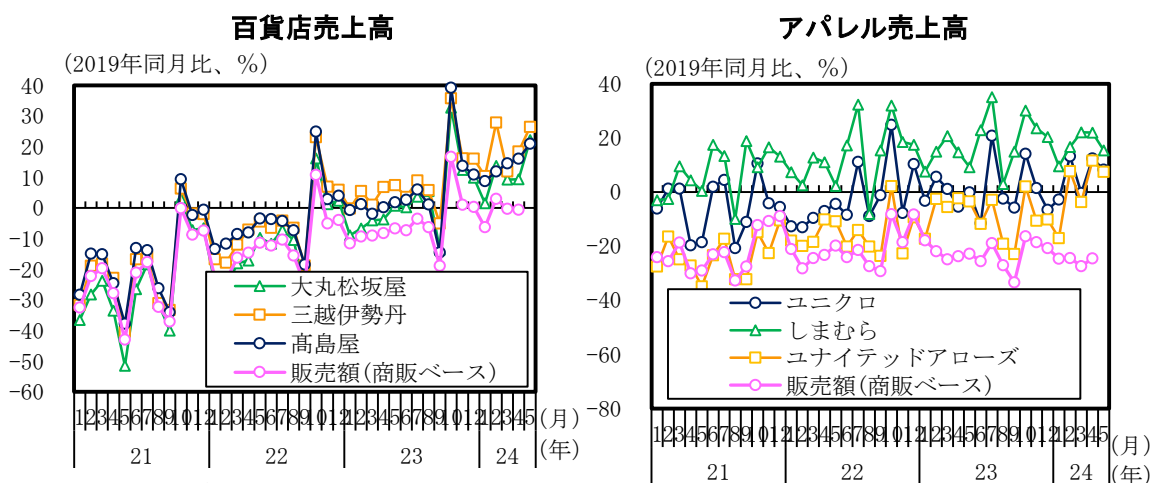
(出所) 日本銀行、総務省、株式会社ナウキャスト/JCB「JCB 消費 NOW」より大和総研作成

<sup>1</sup> JCB グループ会員の中からランダムに抽出された約 1,000 万会員を対象に、ナウキャスト社が作成・公表している消費指数。

## <小売関連>

- ◆【百貨店】 24年4月の百貨店商品販売額（商販ベース）は、コロナ禍前の19年同月比でマイナス幅が3月から小幅に拡大。24年5月の百貨店大手3社の既存店売上高は同+21~26%程度と伸び率はいずれも前月から拡大。高額品や化粧品の売上が好調。
- ◆【アパレル】 24年4月のアパレル販売額（商販ベース）は19年同月比で前月からマイナス幅が縮小。24年5月の大手アパレル3社の既存店売上高は前月からプラス幅が縮小。月前半は夏物の売上が好調も、月後半以降の気温低下に伴い失速。

図表3：百貨店・アパレルの売上高



(注1) 百貨店：既存店ベース。

(注2) アパレル：既存店ベース。ユニクロとユナイテッドアローズはネット通販を含む数値。

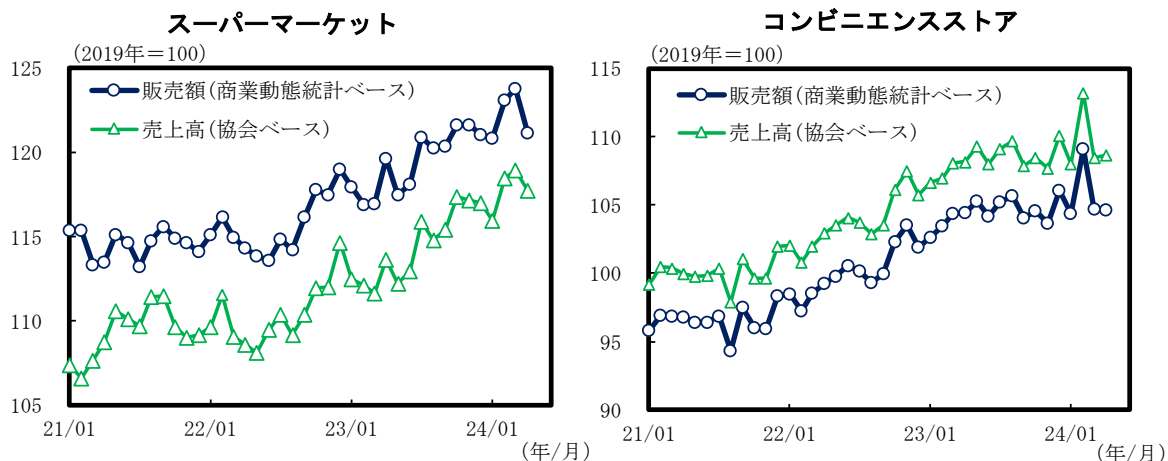
しまむらの各月の数値は前月21日から当月20日の集計値、20年10月以降はオンラインストア含む。

(注3) アパレル販売額(商販ベース)は、商業動態統計の「織物・衣服・身の回り品小売業」を参照。

(出所) 経済産業省統計、各社資料より大和総研作成

- ◆【スーパーマーケット】 24年4月の販売額は前月比▲2.1%（大和総研による季節調整値）。飲食料品などの販売額が減少。
- ◆【コンビニエンスストア】 24年4月の販売額は前月比▲0.0%（大和総研による季節調整値）。加工食品の販売額が増加した一方、日配食品や各種チケット等のサービス販売額は減少。

図表4：スーパーマーケット・コンビニエンスストアの売上高

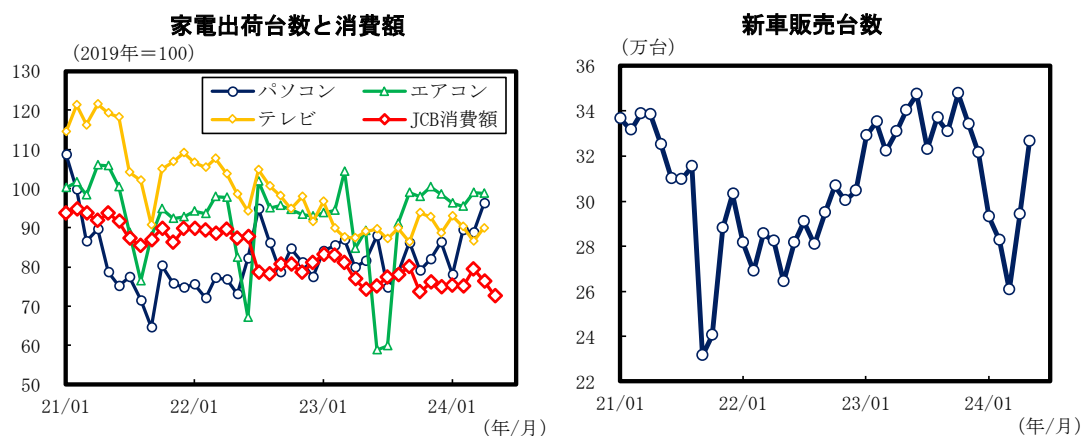


(注) 売上高（協会ベース）は既存店ベースの数値。大和総研による季節調整値。

(出所) 経済産業省、全国スーパーマーケット協会、日本フランチャイズチェーン協会より大和総研作成

- ◆【家電】24年4月の出荷台数はパソコンが前月比+8.3%、テレビは同+3.8%、エアコンは同▲0.2%（大和総研による季節調整値）。24年5月のJCB消費額（機械器具小売業）は同▲4.8%と2カ月連続で減少（大和総研による季節調整値）。
- ◆【自動車】24年4月の新車販売台数は前月比+12.8%。24年5月は同+11.0%と2カ月連続で増加（大和総研による季節調整値）。トヨタ自動車やダイハツ工業の工場稼働再開の影響が表れた。

図表5：家電出荷台数と新車販売台数



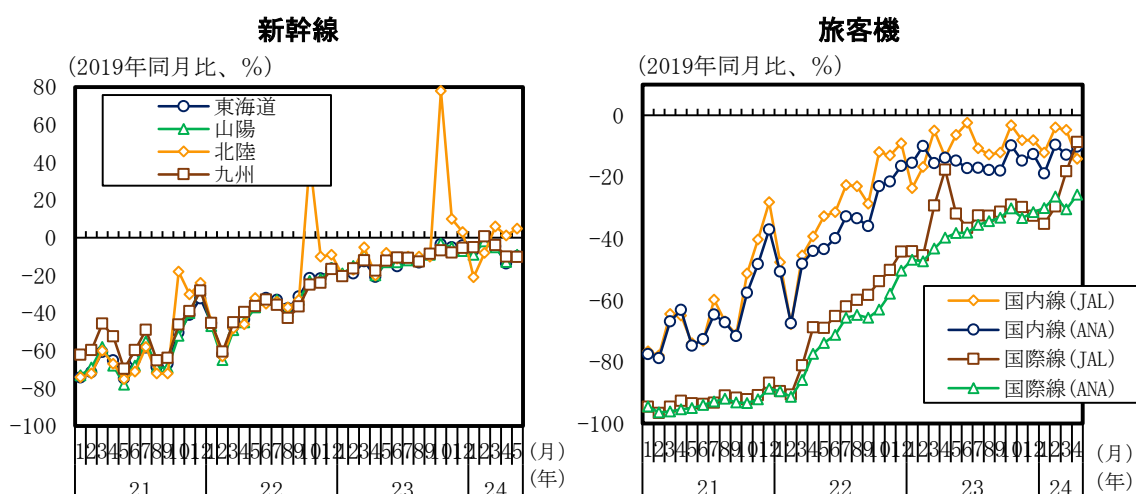
(注) 大和総研による季節調整値。JCB消費額はJCB「機械器具小売業」。24年5月分は月前半のデータをもとに伸び率を試算。

(出所) 電子情報技術産業協会、日本冷凍空調工業会、日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

### <サービス関連>

- ◆【新幹線】24年4月の輸送量は19年同月比▲13～+1%程度。24年5月の輸送量は同▲10～+5%程度と九州以外では伸び率が拡大。
- ◆【旅客機】24年4月の国内線輸送量は19年同月比で▲14%～▲10%程度。国際線輸送量は同▲26%～▲9%程度と前月からマイナス幅が縮小。航空各社は堅調な観光需要を受けて、24年の旅客便の供給量が拡大する見込み。

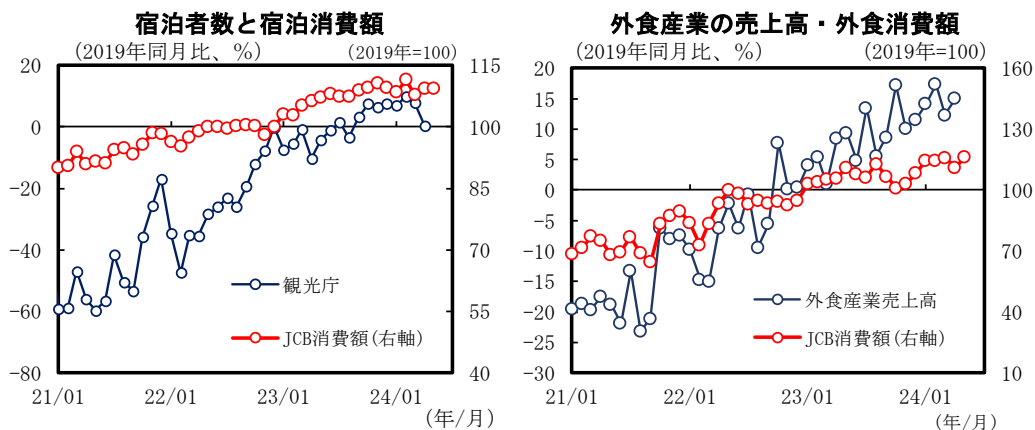
図表6：新幹線・旅客機の利用状況



(注) 24年5月の東海は21日、山陽と北陸は31日、九州は22日まで。JAL・ANAのデータはグループ会社を含む。  
(出所) JR東海、JR西日本、JR九州、JAL、ANA資料より大和総研作成

- ◆【宿泊】 24年4月の宿泊者数（観光庁、宿泊日数ベース）は19年同月比+0.5%。24年5月のJCB宿泊消費額の伸び率は前月から横ばい。
- ◆【外食】 24年4月の外食産業の売上高は19年同月比+15.0%。24年5月のJCB外食消費額は前月比+4.4%と2カ月ぶりに増加。

図表7：国内宿泊者数と関連消費額（左）、外食産業の売上高と関連消費額（右）

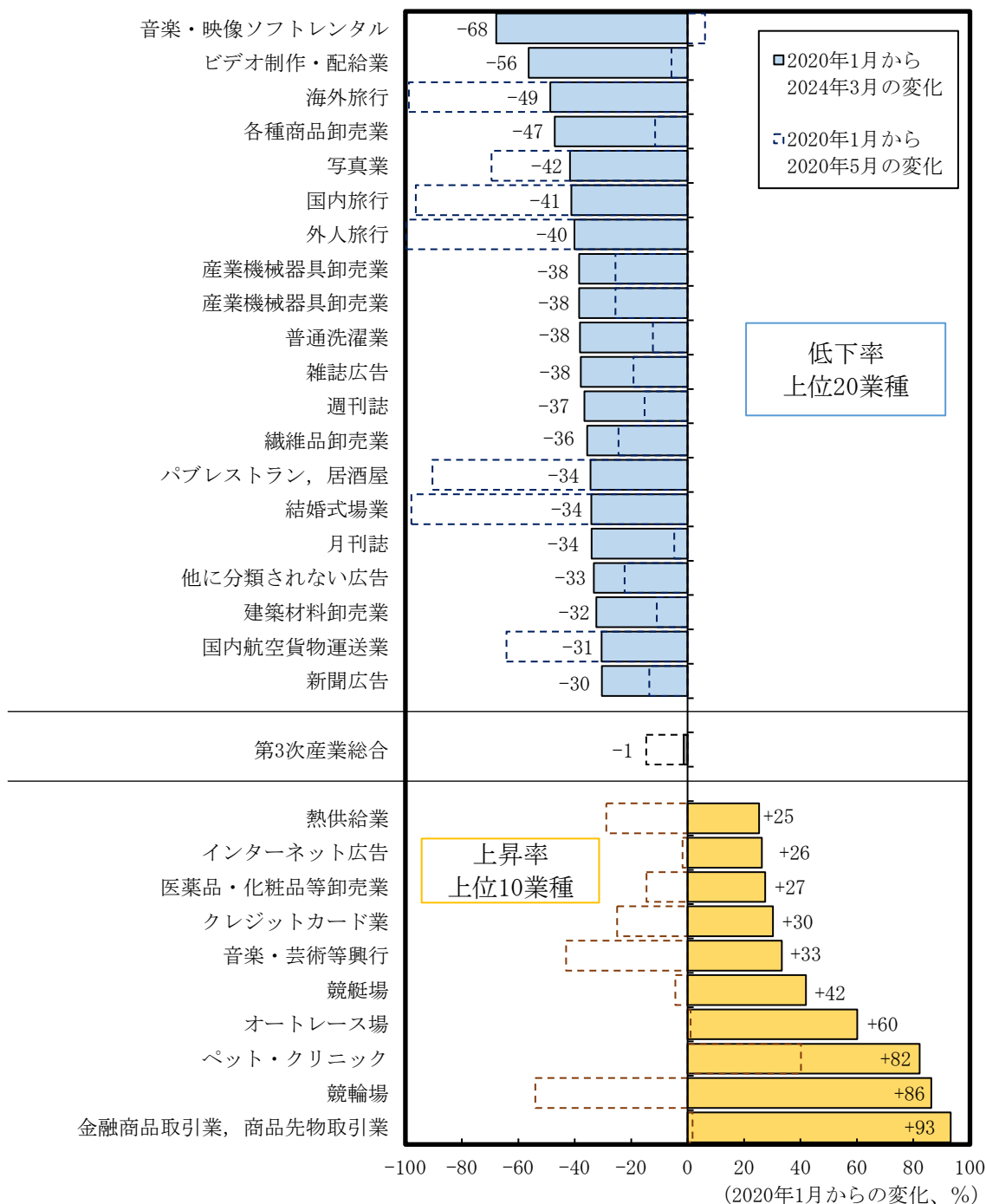


(注) 大和総研による季節調整値。24年5月分のJCB消費額は月前半のデータをもとに伸び率を試算。観光庁統計は宿泊日数ベースのデータを用いている。

(出所) 観光庁、一般社団法人日本フードサービス協会統計、株式会社ナウキャスト/ JCB「JCB消費NOW」より大和総研作成

<参考：第3次産業活動指数>

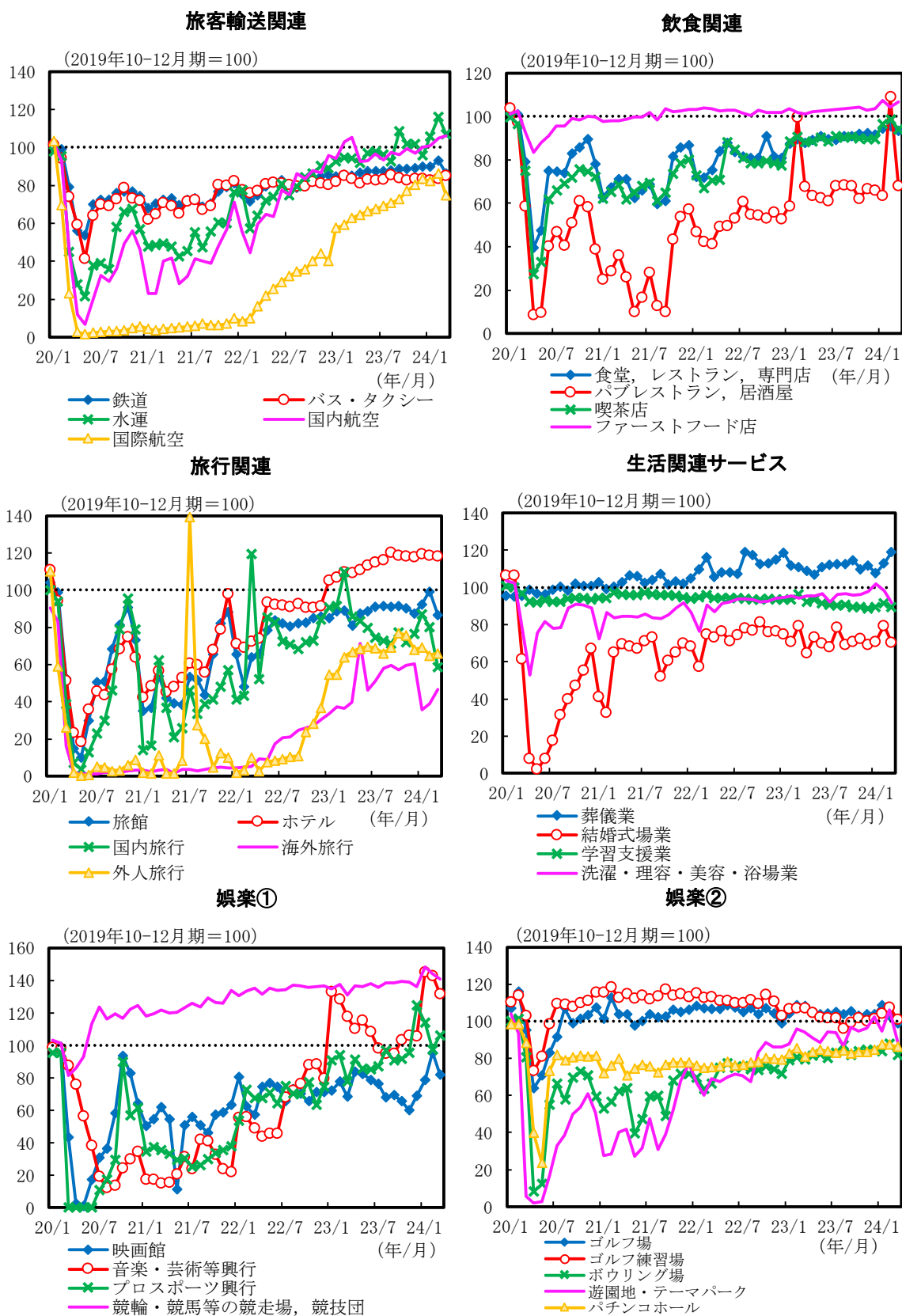
図表 8-1：第3次産業活動指数（2024年3月）



(注) 季節調整値。図中の数値は2020年1月から2024年3月の変化率。

(出所) 経済産業省より大和総研作成

図表 8-2 : 運輸業・生活関連サービス業における活動指数の推移



(出所) 経済産業省より大和総研作成